

TiGRAN

クローゼットドアユニット 施工説明書

A901230

三方枠ノンレール仕様

■使用上の注意

施工される人への危害を未然に防止するためと、ご使用になる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、この説明書をよくお読み下さい。

△

暖房器具などから発生する熱風、熱気が直接当たらないようにして下さい。
扉の反り、変色などの原因になります。

△

扉に粘着テープでホスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。

△

製品に水、油、殺虫剤などが付着しないようにして下さい。
材質の特性により表面がふくれたり、染み、変色などが発生する恐れがあります。

△

扉の開閉にあたっては、丁番側の隙間に手を置かないで下さい。
指を挟んでケガの恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

△

扉の開閉にあたっては、必ず引手を持って操作して下さい。
引手から手を離したり、扉の先端に手を置くと、扉が急に閉まったとき、扉と手の間で指を挟み、思わぬケガをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

△

扉を開け放した状態にするときは、ドアストッパーなどをお使い下さい。
強い風などで、勢いよく閉まることがあり、ぶつかったり、ガラス割れなどで思わぬケガをする恐れがあります。

△

安全のため、破損・変形した扉は、使用しないで下さい。

■点検・お手入れについて

1. 日常のお手入れは乾いた柔らかい布または化学雑巾で拭きして下さい。
ひどい汚れまたは落ちにくい汚れは中性洗剤を薄めて固く絞った雑巾で拭き取って下さい。
汚れがひどい場合でも酸性・アルカリ性の洗剤、溶剤（シンナー・ベンジン）などは絶対に使用しないで下さい。

2. 虫害を発見された場合は、直ちに殺虫や防虫処理をして下さい。外部から入ったことも考えられますので設置すると虫害が拡大する恐れがあります。

3. 建付け調整は必ず手回しドライバーを使用して下さい。
電動ドライバーを使用する場合は、ビス頭が壊れる恐れがあります。

4. 扉の調整で丁番固定ビスを緩めた場合は調整後必ず締め付け、ガタツキが無いことを確認して下さい。脱落の原因になる恐れがあります。

5. ドアが傾いたり、ガタついている時は、丁番固定用ビスを締め直して下さい。

6. 使用中に異常を感じられたり不具合が生じたときは、取付部分などの状況を確認してください。
ご自身で対応できない場合には、施工業者様にご連絡またはご相談して下さい。

■施工上の注意

△造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材（含水率19%以下）を使用し、湿潤材（グリーン材）は使用しないで下さい。壁内の通気が悪く、内部結露が発生する恐れがある場合は、防水処理をしてから施工して下さい。

△枠の組立て後、ねじれ・引っ張りなど無理な力を加えないで下さい。破損する原因になります。

△造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ず間隔を作り、かい木を入れて下さい。かい木には、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないで下さい。造作材・建具枠をコンクリートやモルタル（床面）に置付けしないで下さい。やむを得ず置付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に必ず防水処理をして下さい。

△養生シートをかぶせる場合は、粘着テープ等を化粧面に貼らないで下さい。剥がす際に表面が損傷する恐れがあります。

△発熱燈付近には取り付けないで下さい。熱により、部品が変形する恐れがあります。

マークの見方

△この表示の欄は「留意を要することが想定されるが、または特別な取組が必要となる事項、留意の程度です。」

△この表示の欄は「してはいけない禁止」内容です。

△この表示の欄は「必ず実施して頂く」指示内容です。

△お得意様へのお問い合わせ
弊社では、お施主様が製品を安全に正しくご使用頂くための
お問い合わせやお手入れ方法などの重要な内容をこの施工説明書に記載しております。
施工後は、必ずお施主様に手渡しして頂きます様お願いいたします。

この施工説明書は「扉吊り込み時」にも使用しますので、大切に保管して下さい

はじめに

※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認してください。 運送中に発生したキズ等がございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。

※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。 《施工後は当社では責任を負いかねます。》

HITECHWOOD

枠同梱部品表(組立前に必ずご確認ください。		尚、同梱の部品には扉取り付け用部品もありますので、扉取り付けまで大切に保管してください。															
	縦枠	横枠	上レール	上レール 固定用ビス	枠組ビス・ 固定用ビス	吊車	治具	枠下固定金具 固定用ビス	下ローラー	ビス隠し キャップ	枠下固定金具	打込 スペーサー	ログナット	振れ止め	振れ止め 固定用ビス	振れ止め 固定用ビス	
					7R 8R					7R 8R							
1折	2	1	1	3	12 14	2	1	2	1	8 10	1	1	4	2	4	1	
2折	2	1	1	4/5/6	12 14	4	1	4	2	8 10	2	1	4	2	4	2	

■施工手順

1 枠の組み立て

下図に従い縦枠と横枠を固定し、フレームをつくります。

縦枠と横枠の固定は下図の要領にて固定して下さい。

2 枠の取り付け

固定用ビスで固定し、ビス隠しキャップをはめ込みます。

フレームを柱間に入れます。※さげふり・水準器を用いて、水平垂直を出し、ねじれ等がないことを確認しながら、縦枠の取り付け用穴へ固定用ビスで固定してください。

3 枠用部品の取り付け

吊車本体と上部ストッパーの取り付け

・吊車本体の凹凸が合うようにレールの中へ挿入してください。
(レール取り付け後は入りません)

・ストッパーを固定する位置を確認して挿入してください。

注意:
吊車本体の向きを間違えると走行不良が起きたり、吊り元固定ストッパーが取り付けなくなります。

4 上レールの取り付け

・レールを枠へビス固定します。

5 枠下固定金具の取り付け

○左右勝手の変更

枠下固定部材を枠に固定する前に左右の吊り元勝手を決定します。前後調整ビスを外し、L型プレート180度回転させ再度固定してください。

※梱包開封時は右吊り元用になっています。

○枠下固定金具の取り付け

下穴を開け付属のビスにて固定してください。取り付け位置は下図を参照してください。

7 上部ストッパーの取り付け(後付けする場合)

・レール取り付け後、上部ストッパーを取り付ける場合固定ネジを緩めた後、指でビスを押さえながらレールより90°角度で挿入し回転させ取り付けます。

指で固定ネジを押さえる。

上レール 板ナット 固定ネジ 上部ストッパー

固定ネジを締める時板ナットが下がり、レールをはさみ込みます。

8 扉用部品の取り付け

下ローラーの取り付け

下ローラーを押し込み、打込みパイプの上から打込みます。

注意:下ローラーを取り付ける時はカナヅチ等で直接打込むと破損の原因になりますので、必ず専用の打込みパイプを使用してください。

9 扉の吊り込み 〈扉は上からはめ込んでください〉

STEP1 STEP2 STEP3 の順番に行ってください。

STEP1 上レール内にある吊車本体の凹凸を合わせてください。

STEP2 下ローラーを枠下固定金具に確実に落とし込んでください。

STEP3 上レール内へ凹凸を合わせた吊車本体にブラケットを合わせ、はさみ込みます。

吊車本体をはさむ。

上レール 吊車本体 下ローラー 枠下固定金具

10 振れ止めの取り付け

目印位置にビスを締めて固定します。

11 吊り元の固定方法

戸車を上ストッパーに完全にしっかりとめ込んでください。戸車の固定ネジを締め付けると完全に固定できます。

1 扉の上下調整

「外側」シール下部の上下調整ビスをプラスドライバーで回して上下調整してください。
(±2mmまで調整できます)時計回りに回すと扉が上がり、反時計回りに回すと扉が下がります。

注意:
扉の上下調整の際は必ず扉を持ち上げながら行ってください。

2 吊り元下部の調整

①中央の調整ネジをゆるめることで吊り元の左右(±5mm)の微調整ができます。

②左右の調整ネジをゆるめることで吊り元の前後(±4mm)の微調整ができます。

注意:
固定位置が上下でずれると動作不良の原因となります。

3 ストッパーの位置の微調整

扉の開閉がスムーズに行われるよう、ストッパーの位置を微調整してください。

注意:
固定位置が上下でずれると動作不良の原因となります。

4 扉のはずしかた

STEP1 STEP2 の順番で行います。

ロックレバーを下に引き下げ、扉を居室側になめ下にし、吊車本体から引き離してください。

寸法図

1折れタイプ

2折れタイプ